



熊本県の金融経済概観

(2020年10月1日)

1. 概況

熊本県内の景気は、新型コロナウイルス感染症などの影響から引き続き厳しい状態にあるが、持ち直しの動きがみられる。先行きについては、新型コロナウイルス感染症の趨勢が県内金融経済に与える影響を注視していく必要がある。

最終需要面をみると、個人消費は、持ち直しの動きがみられる。観光は、引き続き厳しい状態にあるが、持ち直しの動きがみられる。住宅投資は、弱い動きとなっている。公共投資は、横ばい圏内で推移している。設備投資は、減少傾向にある。

生産面をみると、弱い動きとなっているが、一部に持ち直しの動きがみられている。

県内企業の直近の業況を9月短観で確認すると、全産業ベースでは、「悪い」超幅が縮小した（全産業ベース：6月▲29→9月▲24→12月<予測>▲21）。

雇用・所得面をみると、弱めの動きとなっている。

この間、8月の消費者物価指数（熊本市、生鮮食品を除く総合、前年比）は▲0.7%と、5か月連続で下落した。

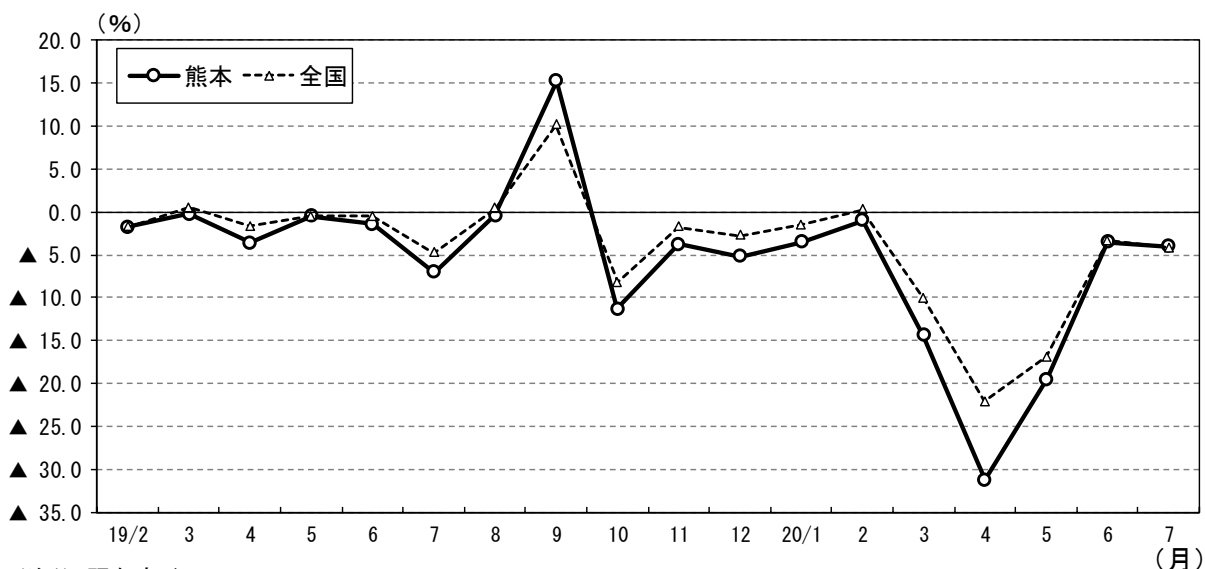
2. 個人消費

個人消費は、持ち直しの動きがみられる。

7月の百貨店・スーパー販売額は、来店客数の減少により、前年を下回った。8月の乗用車の新車登録台数（含む軽）は、前年を下回った。7月の家電販売額は、在宅時間の長期化に伴う買い替え需要により前年を上回った。

観光は、引き続き厳しい状態にあるが、持ち直しの動きがみられる。

＜百貨店・スーパー販売額前年比＞

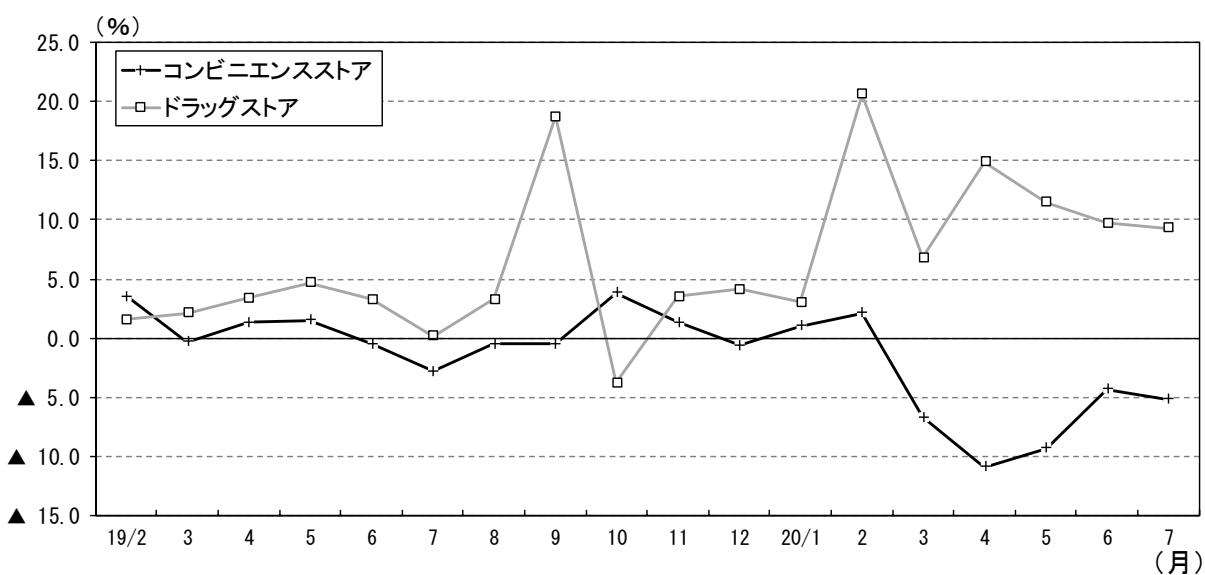


(注1) 既存店ベース。

(注2) 当店公表日の2営業日前までに公表された統計の計数を利用（以下同じ）。

(出所：経済産業省)

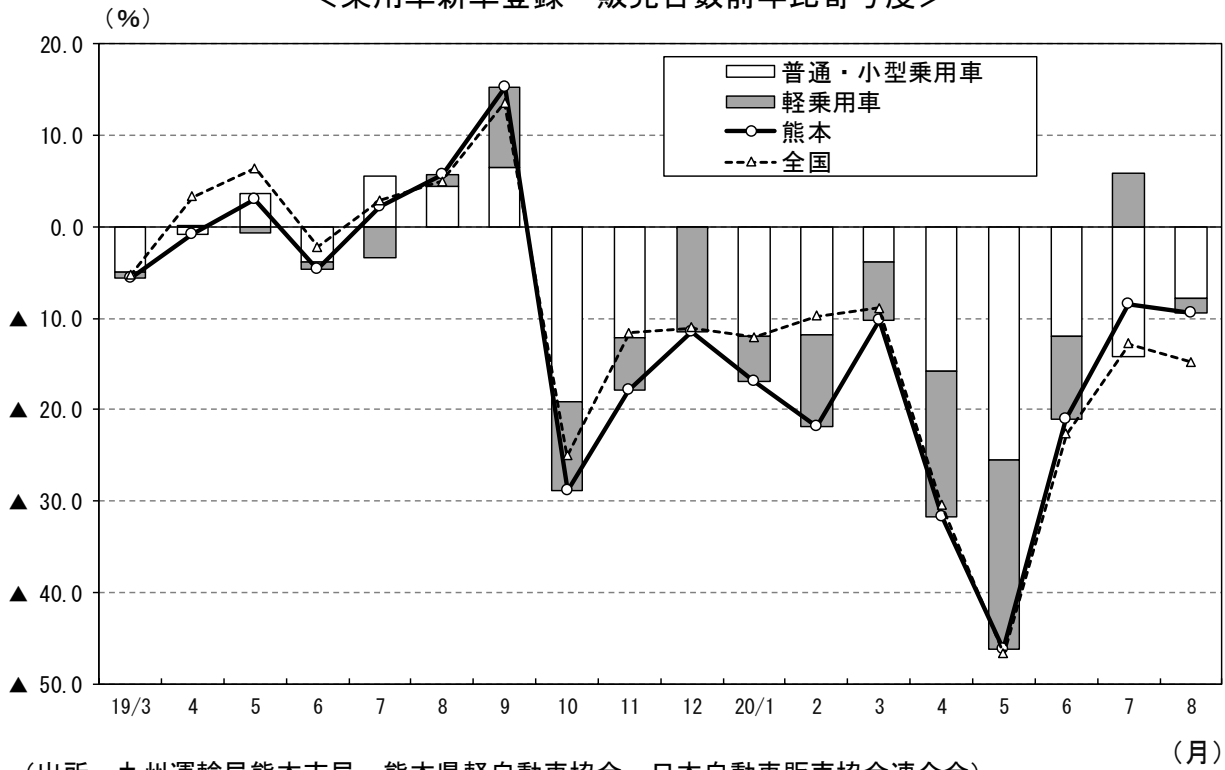
（参考）＜コンビニエンスストア・ドラッグストア販売額（熊本）前年比＞



(注) 全店ベース。

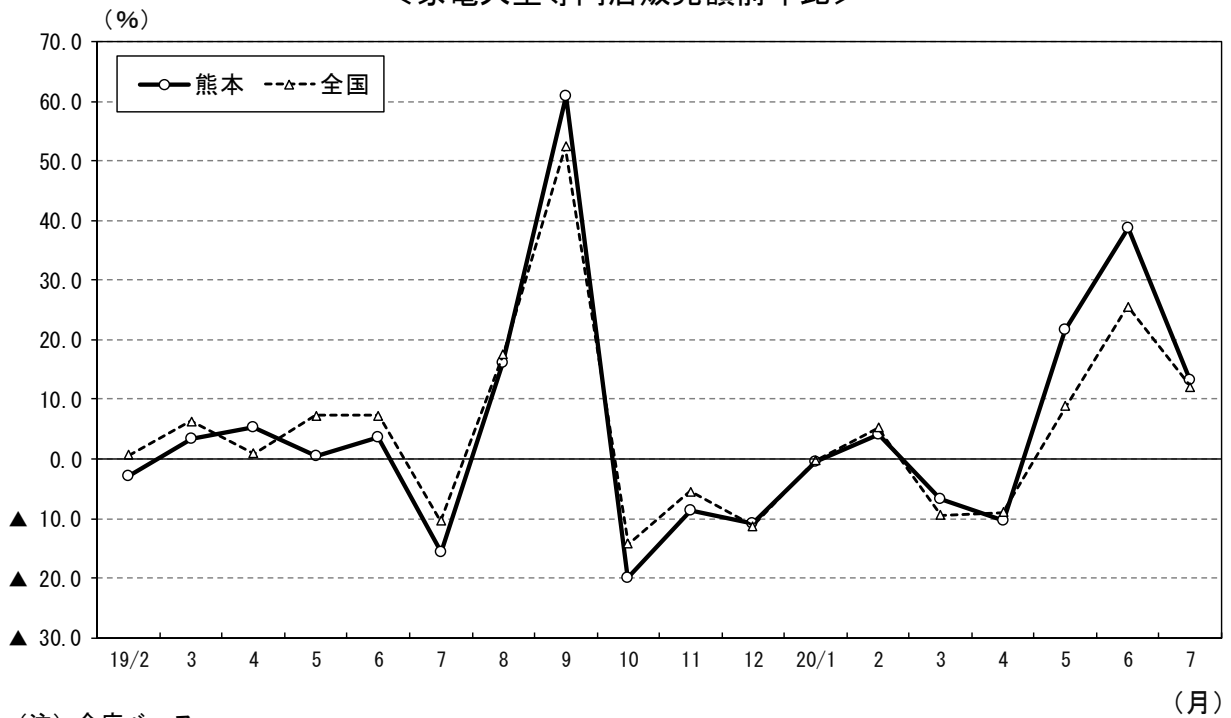
(出所：経済産業省)

＜乗用車新車登録・販売台数前年比寄与度＞



(出所：九州運輸局熊本支局、熊本県軽自動車協会、日本自動車販売協会連合会)

＜家電大型専門店販売額前年比＞



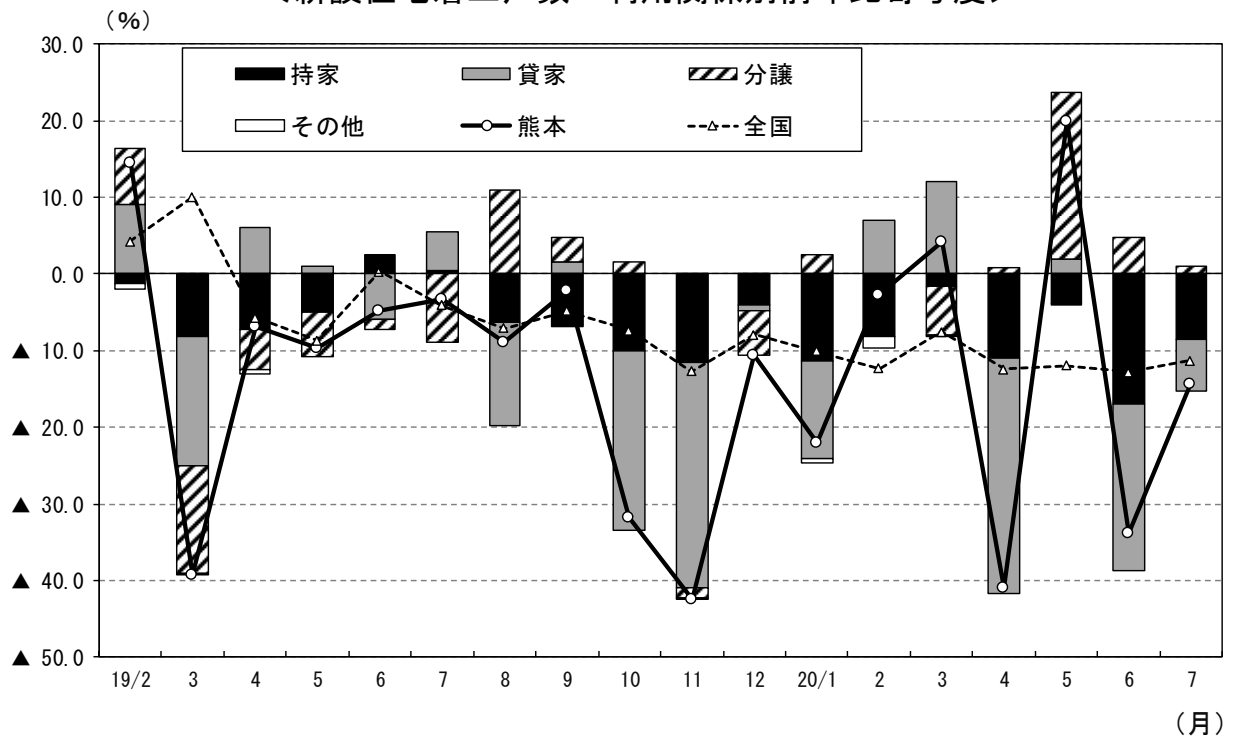
(注) 全店ベース。
 (出所：経済産業省)

3. 住宅投資

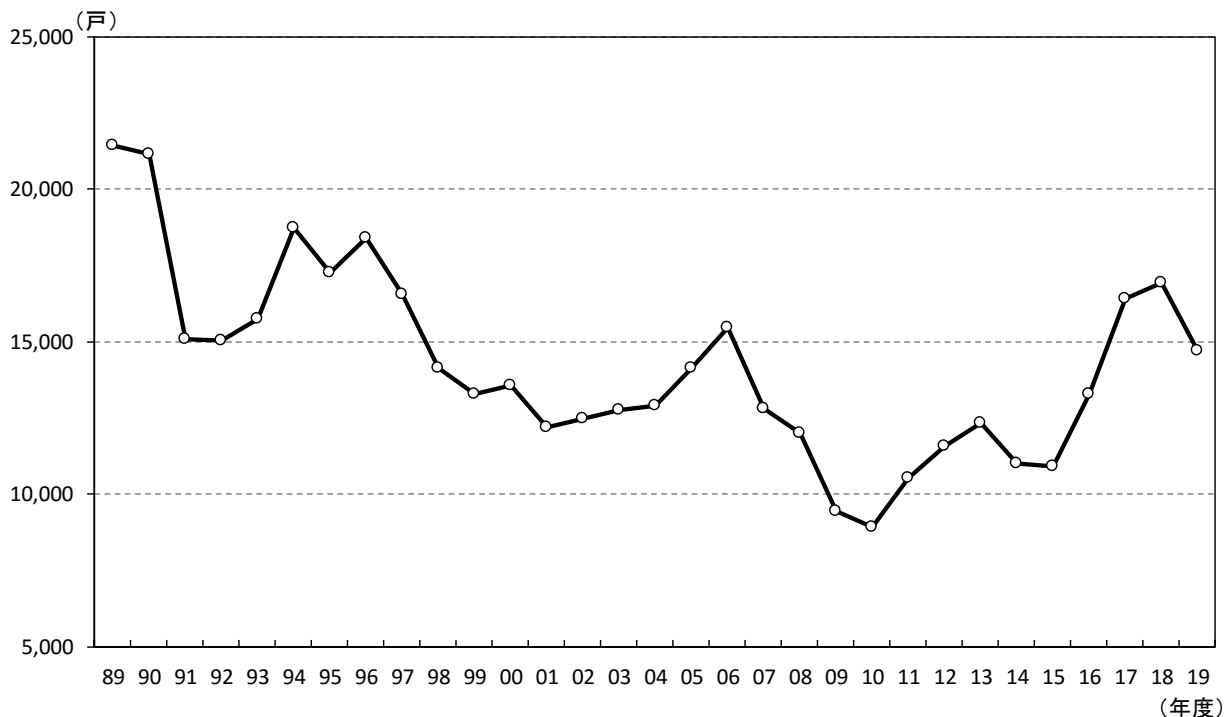
住宅投資は、弱い動きとなっている。

7月の新設住宅着工戸数は、持家や貸家の減少により、前年を下回った（7月：前年比▲14.3%）。

＜新設住宅着工戸数・利用関係別前年比寄与度＞



＜新設住宅着工戸数（年度ベース）＞



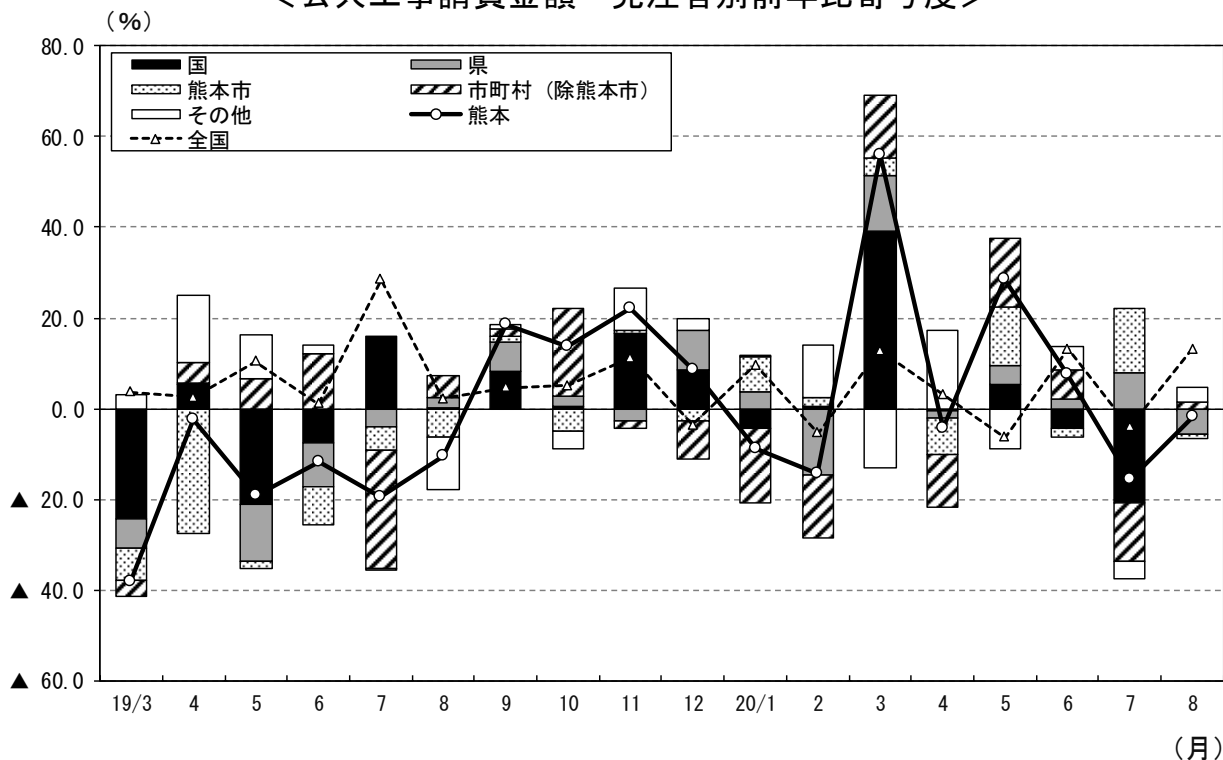
(出所：国土交通省)

4. 公共投資

公共投資は、横ばい圏内で推移している。

8月の公共工事請負金額は、県を中心に、前年を下回った（8月：前年比▲1.9%）。

＜公共工事請負金額・発注者別前年比寄与度＞



＜公共工事請負金額（年度ベース）＞

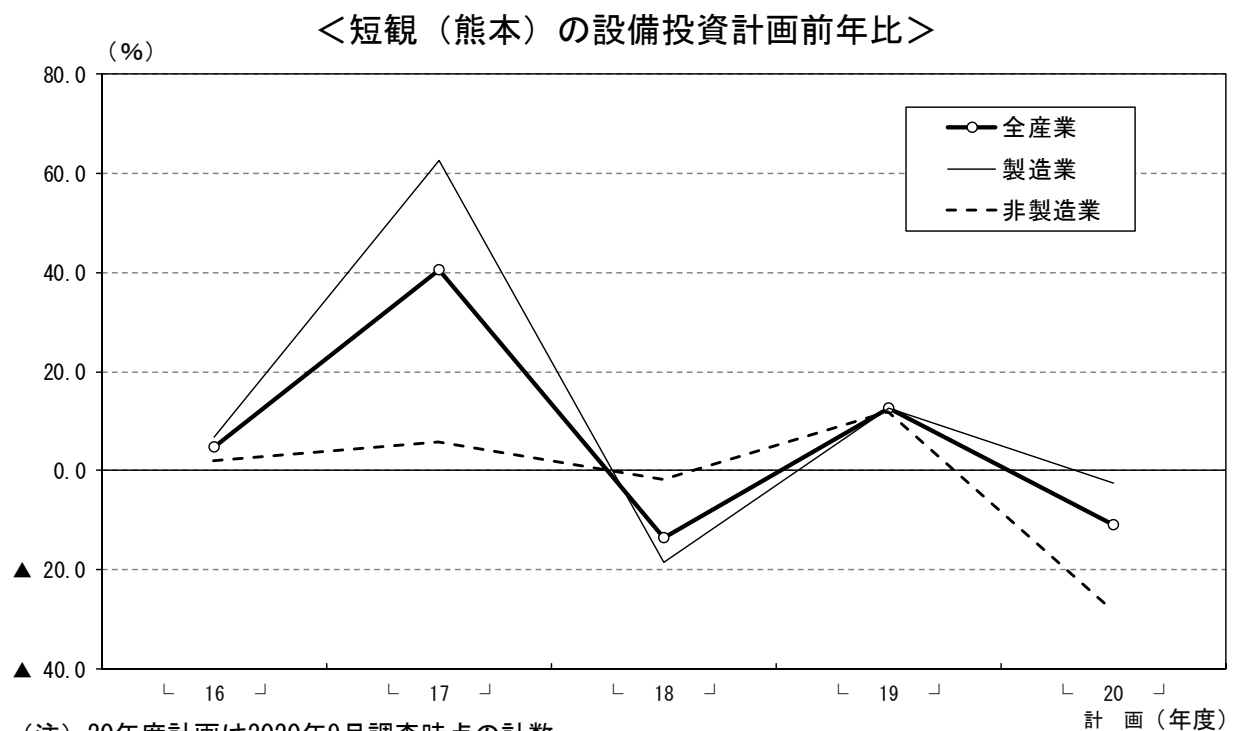
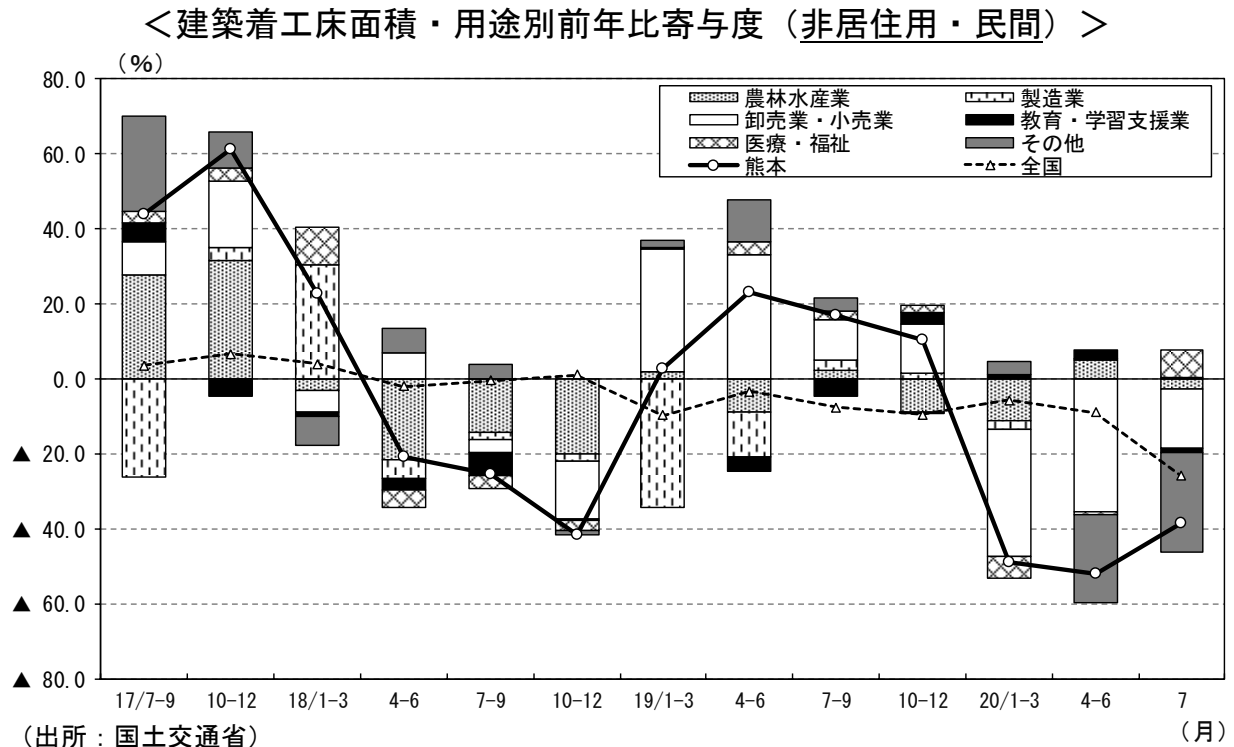


(出所：西日本建設業保証、東日本建設業保証)

5. 設備投資

設備投資は、減少傾向にある。

7月の建築着工床面積（非居住用・民間）は、卸売業・小売業を中心に、前年を下回った（7月：前年比▲38.4%）。

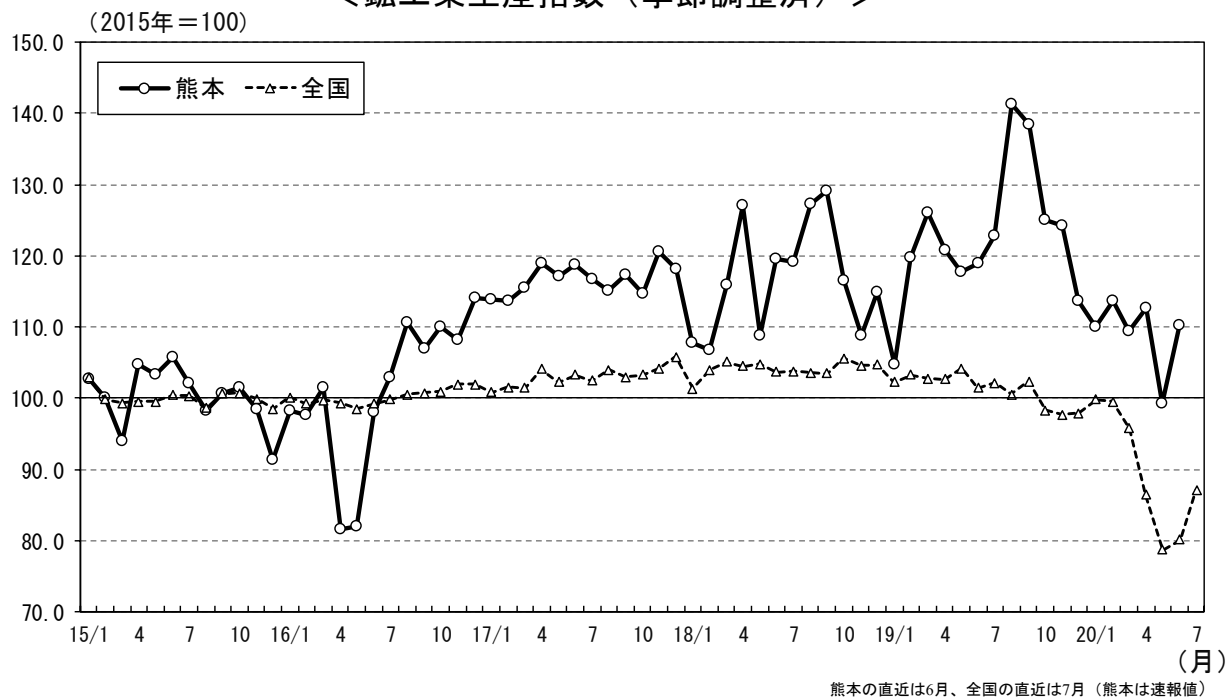


6. 生産

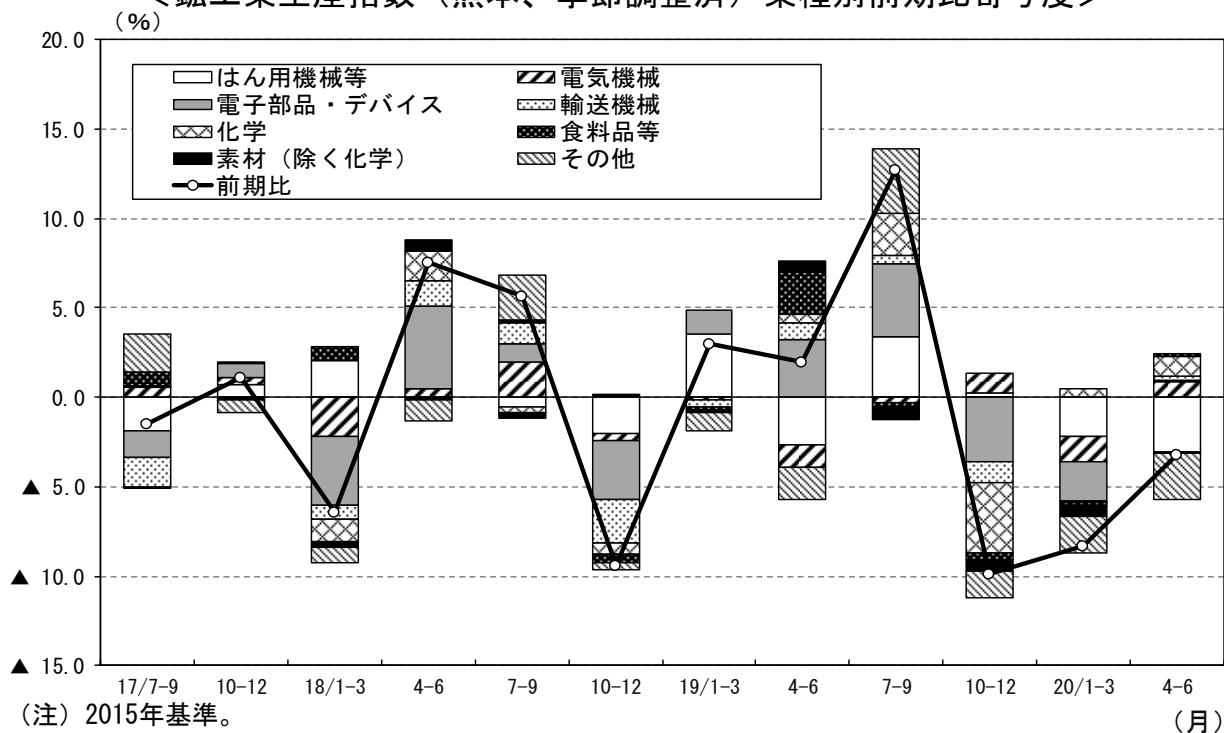
生産面をみると、弱い動きとなっているが、一部に持ち直しの動きがみられている。

6月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、「はん用機械等」を中心に、前月を上回った（6月：前月比+11.1%）。

＜鉱工業生産指数（季節調整済）＞



＜鉱工業生産指数（熊本、季節調整済）業種別前期比寄与度＞

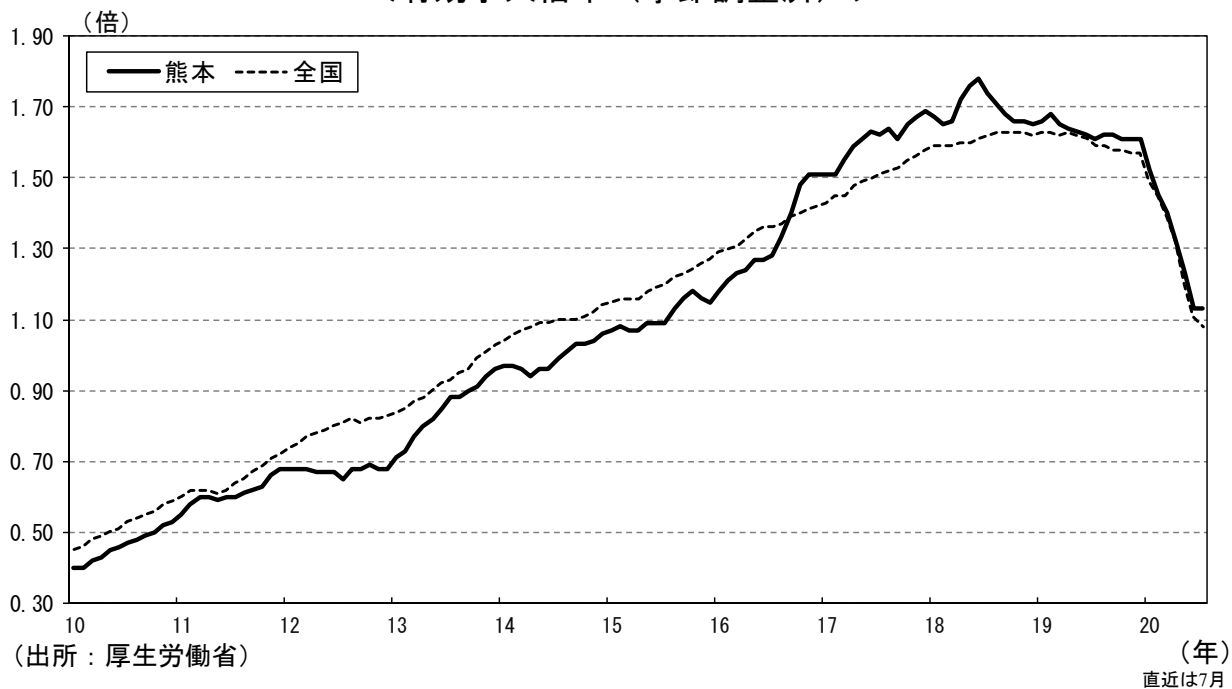


7. 雇用・所得

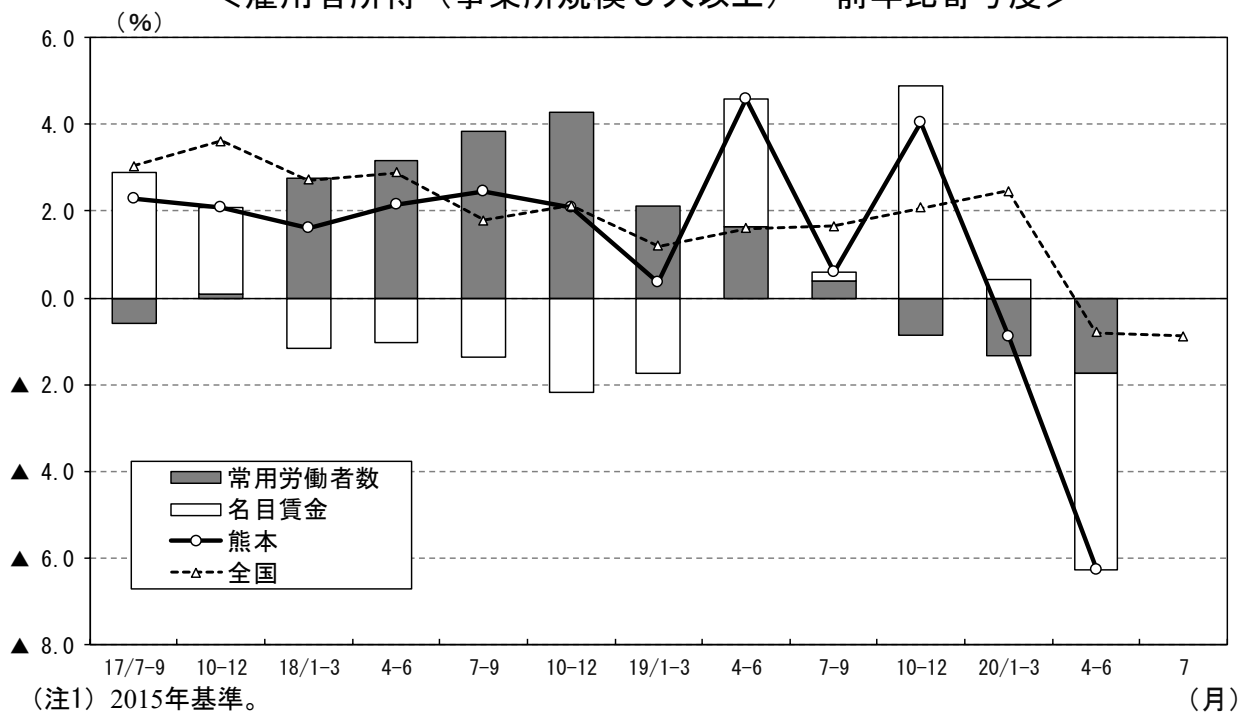
雇用・所得面をみると、弱めの動きとなっている。

7月の熊本県の有効求人倍率（季節調整済）は、1.13倍と前月から横ばいとなった。

＜有効求人倍率（季節調整済）＞



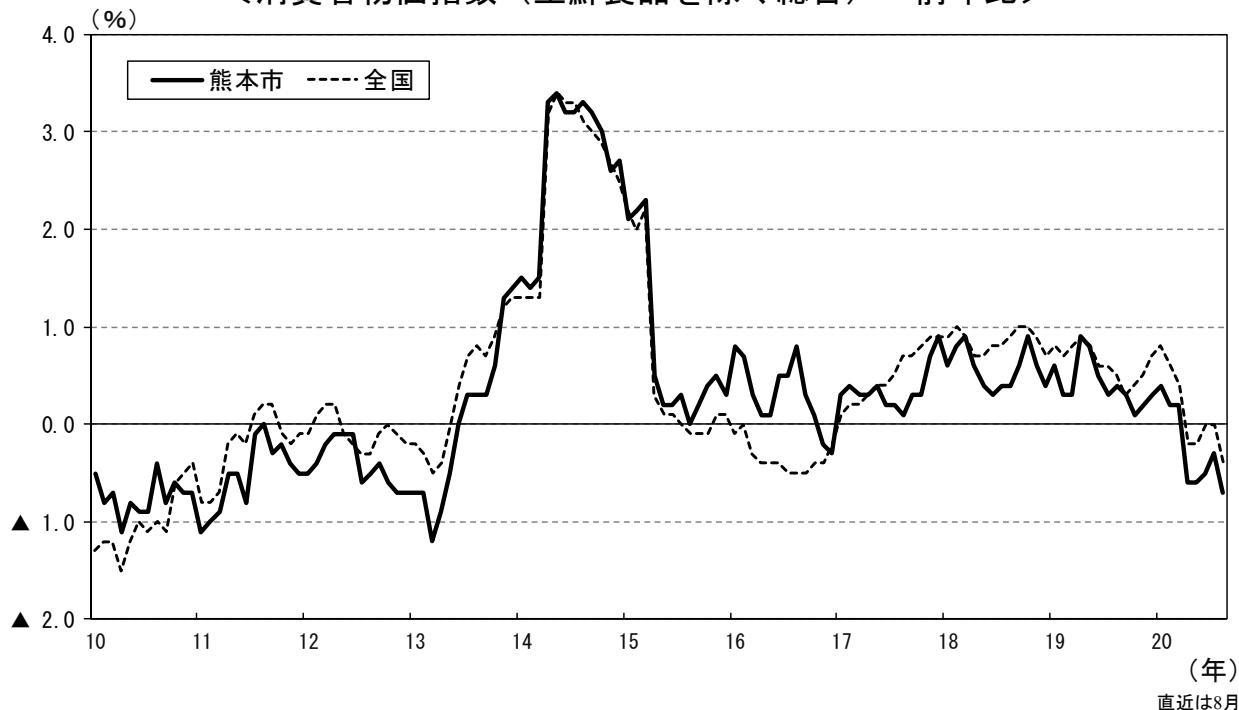
＜雇用者所得（事業所規模5人以上）・前年比寄与度＞



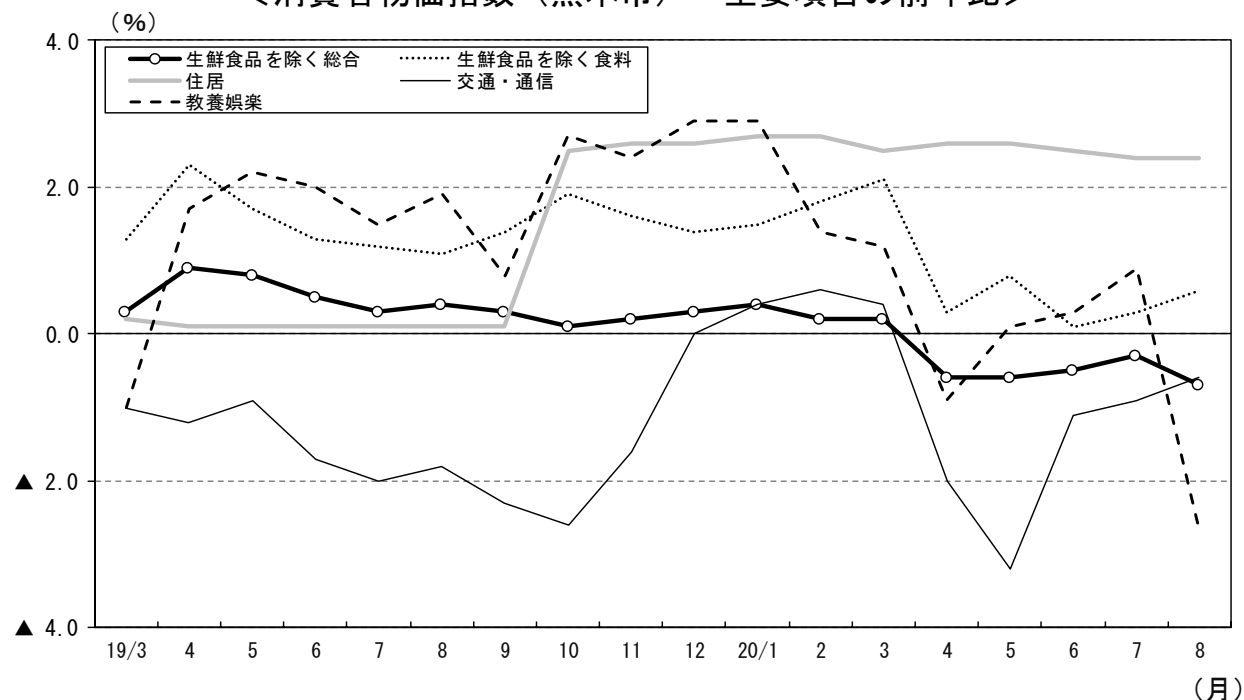
8. 消費者物価

8月の消費者物価指数（熊本市、生鮮食品を除く総合、前年比）は、▲0.7%と、5か月連続で下落した。

＜消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）・前年比＞



＜消費者物価指数（熊本市）・主要項目の前年比＞



（注）2010年12月までは2005年基準、2011年1月～2015年12月は2010年基準、2016年1月以降は2015年基準。

（出所：総務省）

9. 預金・貸出金、貸出約定平均金利

8月の預金（実質預金＋譲渡性預金）動向をみると、個人預金や法人預金を中心に前年を上回った（前年比：熊本県＋6.1%、全国＋8.8%）。

貸出金は、新型コロナウイルス感染症に伴う資金需要を背景に、前年を上回った（同：熊本県＋6.8%、全国＋6.7%）。この間、個人向けも住宅ローンを中心に増加している。

貸出約定平均金利（総合、ストックベース）は、1.016%と前月を下回った。

＜預金（実質預金＋譲渡性預金）前年比＞



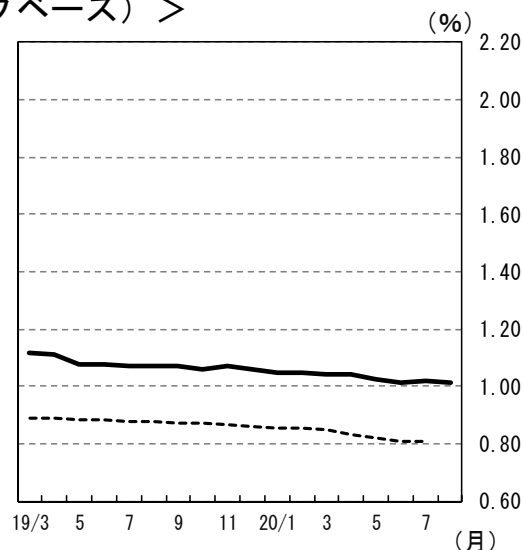
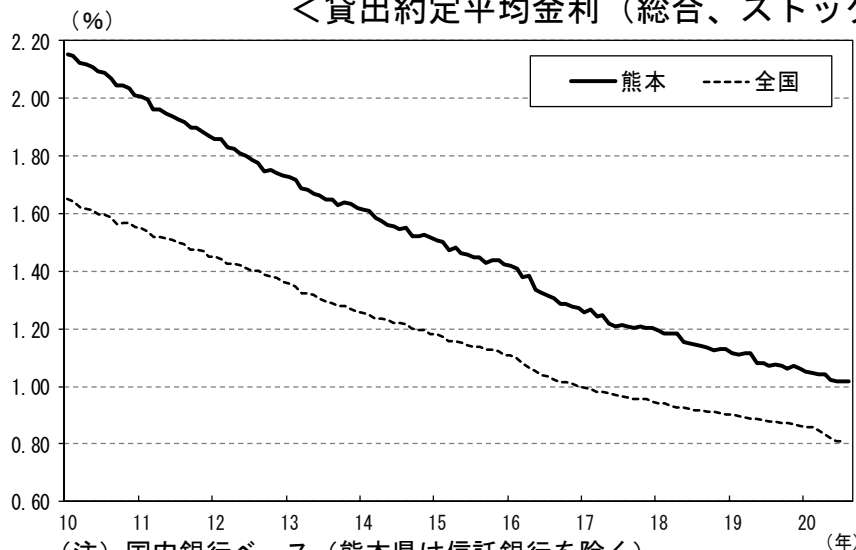
＜貸出金前年比＞



（注1）実質預金＝表面預金－切手手形。

（注2）熊本県は、預金・貸出金ともに銀行（ゆうちょ銀行を含まない）・信用金庫・信用組合の合計で、末残ベース。全国は預金が3業態（都銀・地銀・地銀Ⅱ）計、貸出金が国内銀行計で、いずれも平残ベース。

＜貸出約定平均金利（総合、ストックベース）＞



（注）国内銀行ベース（熊本県は信託銀行を除く）。

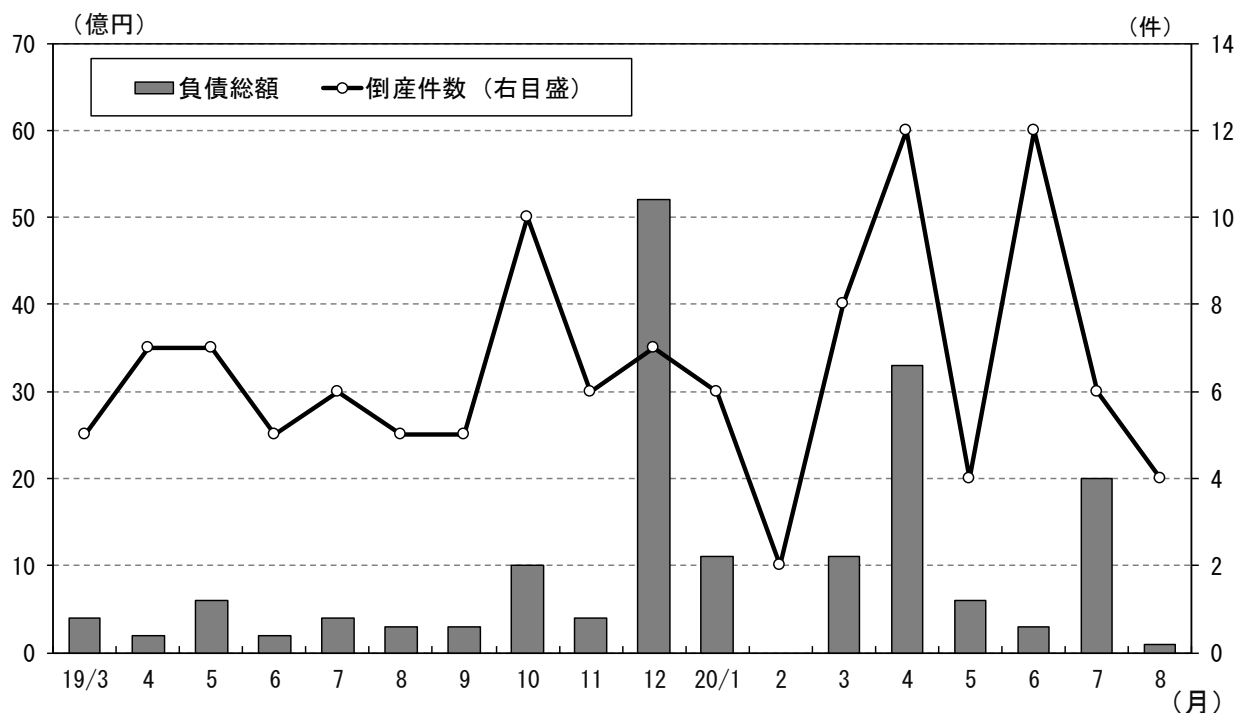
（出所：日本銀行、日本銀行熊本支店）

熊本の直近は8月、全国の直近は7月

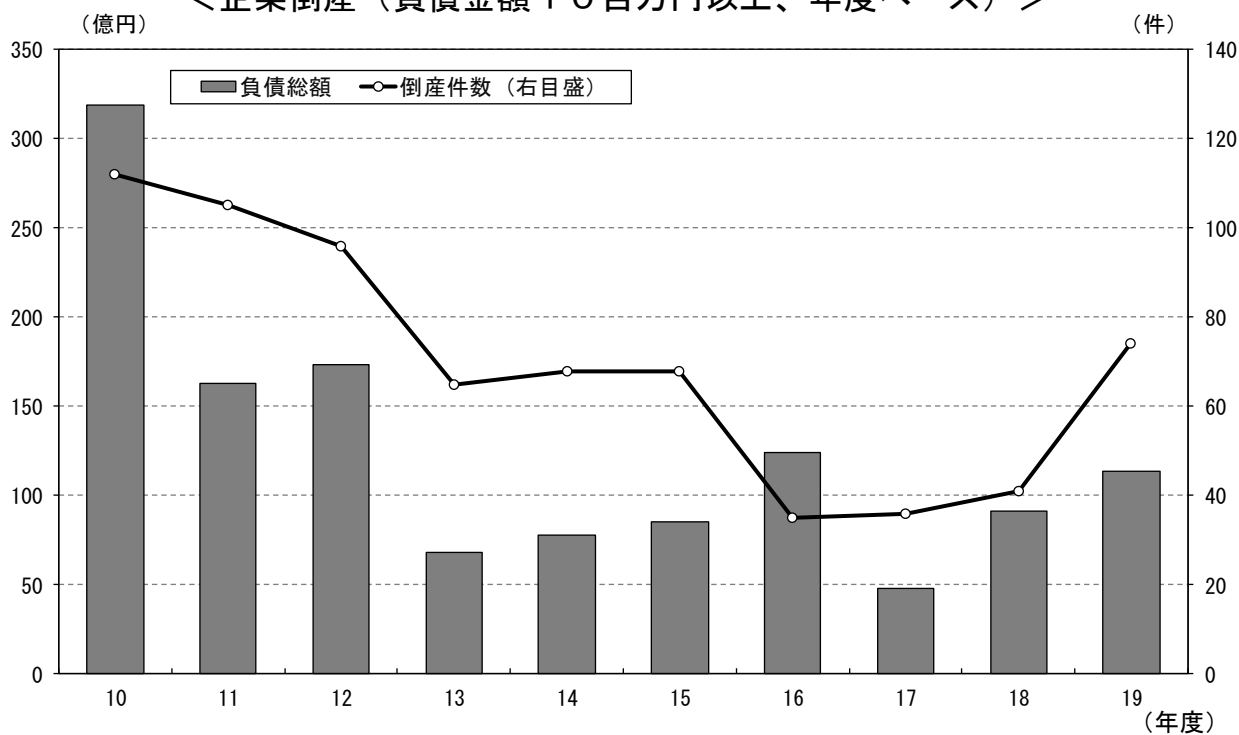
10. 企業倒産

8月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、件数・負債総額ともに前年を下回った。

＜企業倒産（負債金額10百万円以上）＞



＜企業倒産（負債金額10百万円以上、年度ベース）＞



(出所：東京商工リサーチ)

以上